【授業科目】看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）Fundamental Nursing Art PracticeⅡ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
久留島 実姫、中村 いお美	２年次 前　期	必　修	2	６０	演　習	あり	巻末 掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／本科目は、学生個々の主体的な学習を基盤に、看護実践に必要な日常生活支援の基礎知識と技術を習得することを目的とする。看護の対象の生活の質（QOL）を向上させるために、身体的、精神的、社会的側面から援助する方法を学ぶ。これにより、患者一人ひとりのニーズに応じた個別的な看護を実践するための能力を養う。授業形式は、講義だけでなく演習を通して知識と実践が統合できるよう展開する。なお、毎時間グループディスカッションを行う。 課題に対するフィードバック方法/①提出された課題にコメントをつけて返却する。②講義時に全体に対してコメントを口頭で述べる。③全体に対するコメントをまとめたものを提示する。①②③いずれかの方法で行う。
実務経験に関する授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な生活行動の援助の知識と技術について、事例（シナリオ）、知識カードを用いて、ディスカッションを交えながら学生の主体的な学習を支援していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	1.　原理・原則に基づいた日常生活の援助技術ができる。 2.　紙上患者（シナリオ）の状態をアセスメントし、日常生活援助が可能であるか判断できる。 3.　安全性・安楽性・自立/自律性と効率性を考慮した看護技術を用いて紙上患者（シナリオ）に合わせた看護実践ができる。
時間外学習に必要な内容・時間	【事前学習】第１回～30 回 １. 該当部分の教科書を読む。 ２. Teams に提示された事前課題、クイズに取り組み、期限内に提出する。 ３. 必要時、該当部分の動画を視聴する、又は実習室で自己練習を実施する。 【事後課題】第１回～30 回 １. Teams に提示された事後課題、振り返りに取りくみ、期限内に提出する。 ２. 各自で講義内容を整理する。 ３. 必要時、実習室で自己練習を実施する。 事前課題+事後課題＝2 時間／回
授業計画	第１・２回　　ガイダンス/看護実践スクリプト（講義/演習） 第３・４回　　患者観察の技術（講義/演習） 第５・６回　　移乗・移送の援助技術（講義/演習） 第７・８回　　事例を用いた移乗・移送の援助（講義/演習）※ 第９・10 回　衣生活の援助技術（講義/演習） 第 11・12 回　清潔の援助技術（全身清拭）（講義/演習） 第 13・14 回　事例を用いた清潔の援助（全身清拭）（講義/演習）※ 第 15・16 回　清潔の援助技術（洗髪）（講義/演習） 第 17・18 回　事例を用いた清潔の援助（洗髪）（講義/演習） 第 19・20 回　清潔の援助技術（足浴）（講義/演習） 第 21・22 回　事例を用いた清潔の援助（足浴）（講義/演習）※ 第 23・24 回　清潔の援助技術（陰部洗浄）（講義/演習） 第 25・26 回　事例を用いた清潔の援助（陰部洗浄）（講義/演習） 第 27・28 回　事例を用いた排泄の援助（講義/演習） 第 29・30 回　事例を用いた食事の援助（講義/演習）/まとめ・振り返り 第 1～8 回 久留島・中村 第 9～26 回 中村・久留島 第 27～30 回 久留島・中村
評価方法 評価基準	課題（事前課題 43%、事後課題 42%）、技術到達度の確認 15%
教科書	1. 任和子他編『根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術』　医学書院 2. 池上敬一著『急変させない患者観察テクニック』 羊土社 3. 井上智子他編『緊急度･重症度からみた症状別看護過程』医学書院 4. 井上智子他編　『病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程』医学書院 ＊1、2 は 1 年次に使用したもの。
参考書等	1. 茂野香おる『基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ』　医学書院 2. 土居健太郎『系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[2]病態生理学』 医学書院 3. 香春 知永　『系統看護学講座基礎看護学[4]臨床看護総論』　医学書院 4. 武田 裕子他編　『ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能 1 解剖生理学』メディカ出版 ＊1～4 は 1 年次に使用したもの。
学生への助言等	授業は課題の実施を前提に行います。みなさんの効果的な学修活動のために必ず取り組んでください。また、本科目での資料は、原則 Teams に Up しますので、必ず各自でダウンロードまたはプリントアウトをして授業に臨んでください。みなさんが自律的に学修されることを期待しています。